

令和7年度新たな取組

学校の居心地向上 プロジェクト

今年度、東京都医学総合研究所及び、東京都子供政策連携室企画
調整部企画調整課と共同で、新しいプロジェクトを開始します。

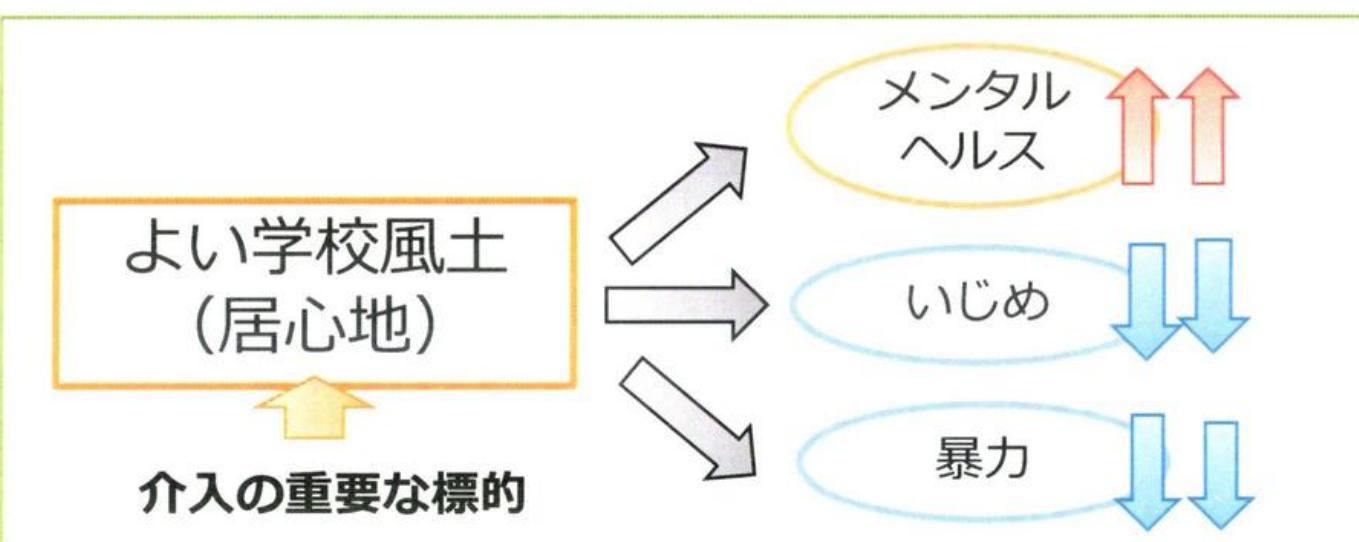


学校の居心地向上 プロジェクトとは？

生徒たちの学校経営に対する
参画意識を高め、自分たちの
手でよい学校を作っていく
という取組



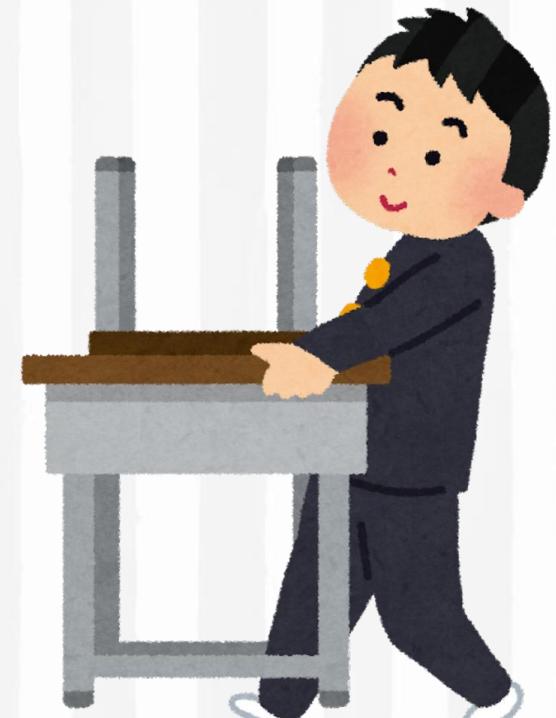
よい学校風土（学校の居心地）は、メンタルヘルスを
向上させ、いじめや暴力を減らすこと（因果関係）が
証明されている。



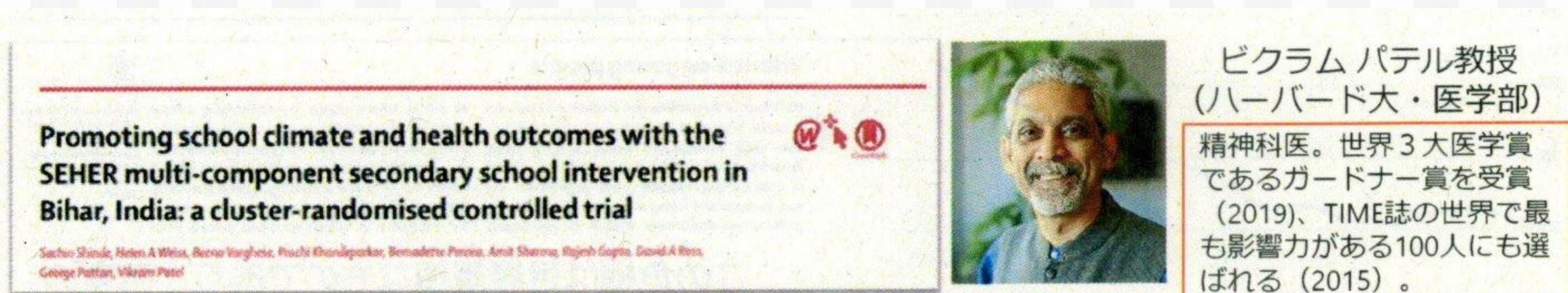
“若者の健康とウェルビーイングを促進するためには、**学校の社会的環境（学校風土）を強化すべき**である。”

Singla DR, Shinde S, Patton G, Patel V. *J Adolesc Health*. 2021

外国の学校での取組では、
”生徒のメンタルヘルスが**向上**し、**いじめ、暴力行為が減少**した”
との報告があります。



学校の居心地向上 プロジェクトとは？その2



Shinde & Patel, **Lancet**, 2018



インドでの実践の様子

インドの中学校（73校）を対象に「居心地を向上させる取組」の効果を検証

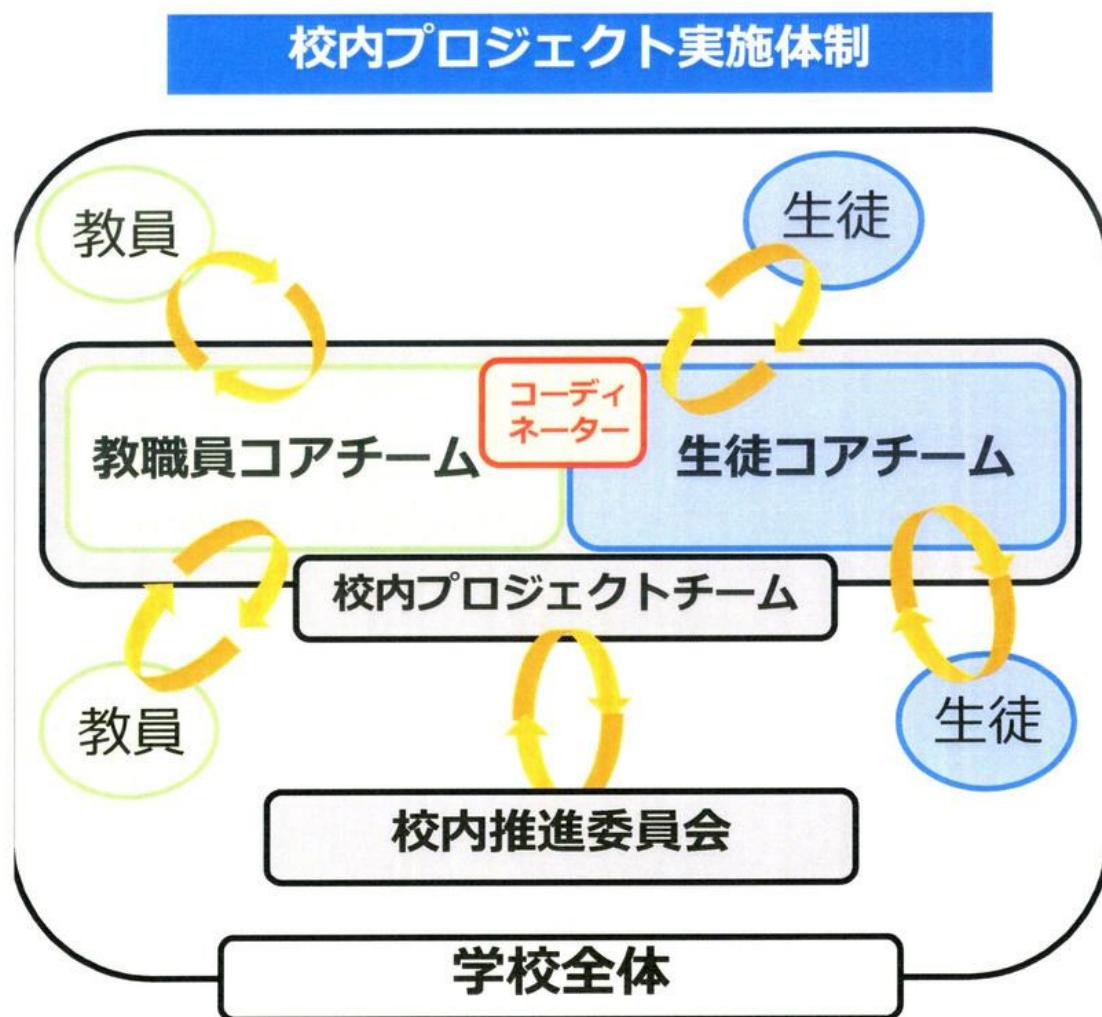
- Health promoting schoolのコンセプトを実現する取組を実施し、学校の居心地が大きく改善。それによって、生徒たちのメンタルヘルスが大幅に改善し、いじめも9割減少
- 学校の外から「居心地向上」をミッションとするコーディネーター（教師以外の大人）を投入したことで大きな効果が得られた



出典：東京都医学総合研究所HPより
西田 淳志 医学博士

ハーバード大学・医学部のビクラム・パテル教授の実践を、日本版として開発されている
東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター センター長であり、
東京大学大学院 教育学研究科 客員教授の西田 淳志 医学博士の指導を受けて実施します。

プロジェクトの進め方



コーディネーターが、生徒や教員を巻き込みながら、学校の居心地を高める様々な取り組みを進めていく。コーディネーターは、**生徒の意見表明を支援**しつつ、教職員とも連携し、共同創造を促進する役割を果たす。



学校外部のコーディネーターに
来ていただき、生徒コアチーム
とともに、生徒の居心地をどう
改善するかを考えます。

生徒コアチームへの参加につい
ては、今後希望を取ります。

生徒コアチームは週に1回ミーテ
ィングを実施します。

令和7年度新たな取組

学校の居心地向上 プロジェクト

本プロジェクトを通して、生徒にとっても教師にとっても
居心地の良い駒沢中学校づくりを目指していきます。

